

## 「2022年度奨学生願書」の作成要領(学部生用)

### はじめに(学生のみなさんへ)

本財団の奨学金に応募を希望する場合は、指定大学の推薦を受けることが必要です。募集要項を確認のうえ、学内の応募(募集期間や募集方法等)については、所属大学の奨学金担当に確認してください。推薦を受けた方は大学を通じて応募(提出)してください。

### 1. ページの構成

ページ	書類	作成者等
P.1	奨学生候補者推薦書	推薦指定大学の学(総)長
P.2～5	奨学生願書	学生(応募者)
P.6	指導担当教員所見	指導担当教員
P.7	個人情報の利用に関する同意書	学生(応募者)
P.8	提出書類一覧(確認用)	学生(応募者) ※ 提出不要

### 2. 願書の入力及び記入例

P.1 「奨学生候補者推薦書」は大学が作成してください。

必要項目を記入又は入力のうえ、押印をお願いします。

(学部生用)  
**記入例**  
2022年4月X日

### 奨学生候補者推薦書

公益財団法人 日本証券奨学財団  
理事長 殿

大学名 日本証券大学  
学(総)長 大学 太郎 日本証券大学

以下の学生は、将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある資質優秀な者であると認められますので、奨学生願書のとおり貴財団の奨学生候補者として推薦いたします

学部	学 科	専攻/コース	学年
証券学部	証券学科	証券コース	2年

氏 名	証券 花子
-----	-------

記入または入力してください

以 上

「学科」が無い場合は「-」と記入または入力

「専攻/コース」が無い場合は「-」と記入または入力

記入または入力した内容は、「奨学生願書」と同じ内容であること

P.2～5「奨学生願書」は学生(応募者)が作成してください。

＜奨学生願書の提出媒体＞

- ・P.2…入力したものを印刷し、記入、押印、写真貼付した紙と、入力データ(Word)
- ・P.3～5…記入した紙

＜注意事項＞

- ・P.2の紙とデータ(Word)は必ず同じ内容であること
- ・書類不備(記入及び入力漏れ、添付書類の不足・その他の不備等)がないことを確認すること
- ・印刷(A4・片面・白黒又はカラー)したものの体裁(ページ崩れ等がないこと等)を確認すること

＜添付書類＞

- ・成績表(直近のもの、コピー可)
- ・住民票の写し(過去6か月以内に発行されたもの)又は在留カード若しくは特別永住者証明書のコピー(応募者本人と二親等以内の者全員及び扶養者と同居している親族全員分(別家計の者を除く))
- ※住民票等と学生(応募者)の現住所が異なる場合は大学が発行する「居住証明書」を提出すること

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

(学部生用)

入力・記入等例

## 奨 学 生 願 書

記入日: 2022 年 4 月 8 日

公益財団法人 日本証券奨学財団

理 事 長 殿

私は、貴財団の奨学金募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします

月日を記入すること

以下、青色の塗りつぶしセルは全て(氏名欄の「中間(Middle)」はある場合のみ)入力すること

1. 応募者

大 学 日本証券大学

学 部 証券学部


学 科 証券学科

学 年 2 年

卒業予定年月 2025 年 3 月

氏名 (本人自署) 証券 花子

氏 名	氏 Last(Family)	名 First	中間 Middle (ある場合のみ)
証券	花子		
ふりがな	しょうけん	はなこ	
ローマ字 (漢字表記のない方)	syouden	hanako	
年齢・生別	4/1 現在満 20 歳	生年月日 (西暦)	2001 年 0 月 0 日
性別	女	国籍	日本



〇〇学部等まで入力すること

所属は正確に入力すること

氏名は本人自署(紙のみ)  
Wordは入力不要

最短修了年限を入力すること

〇〇学科等まで入力すること  
無い場合は「一」と入力すること

2022年4月1日の満年齢  
※応募対象者は22歳以下

写真貼付(4cm×3cm)

- ・上半身・無帽
- ・6か月以内の撮影
- ・裏面に大学名と氏名を記入
- ・カラー

現住所が住民票と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

## 2. 応募者の連絡先

現住所 (注1)	郵便番号	000-00000	都道府県	東京都
	市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8		
	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303 号	自宅・自宅外の別	自宅
電話番号	固定	03-0000-0000	携帯	090-0000-000
E-mail アドレス (注2)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office@suisensiteidaigaku.or.jp			
扶養者 住所 電話番号	郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
	市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8		
	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303 号	電話番号	03-0000-0000

部屋番号まで入力すること

扶養者と同居の方は「自宅」  
扶養者と別居の方は「自宅外」  
※奨学金月額に関係しますので、  
正確に入力すること

常時使用するEmailアドレスを必ず1つ以上  
入力すること  
複数ある場合は「,」で  
区切ること

(注1) 住民票と現住所が異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください  
(注2) E-mailアドレスは日常的に使用するものをすべて「,」で区切って入力してください

2

扶養者と同居であっても必ず入力すること  
扶養者が海外に居住している場合も必ず入力すること  
(空欄としないこと)

「3. 大学生活に関して」～「7. 本年度の経済状況」は自筆で記入すること

(学部生用)

## 3. 大学生活に関して

(今思い描く将来の自分と、その将来に向けて大学生活のなかで実践或いは計画していること  
について記述してください また、自らが財団の奨学生としてふさわしいとアピールする内容を  
記述してください) (※800字程度)

本財団の求める人物像や奨学金の趣旨を理解したうえで記入してください

自筆で記入すること  
(PCでの入力不可)

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

## 4. 履歴 (高等学校卒業校以降)

年 (西暦)	月	学歴・職歴 (アルバイトを除く)
2XXX	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2XXX	4	〇〇予備校 入学
2XXX	3	〇〇予備校 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 入学

(注) 空白期間のないように記入してください (高校は 〇〇県立、〇〇市立、私立などの別を記入)

## 5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	〇〇免許 2 級
賞 罰	第 X 回全国〇〇大会〇〇賞

記入すべき事項が無い場合はそれぞれの欄に「なし」と記入すること(空欄としないこと)

本人からみて生存する二親等以内の者及び扶養者と同居している親族全員を記入すること

## 6. 家族の状況及び家庭の実情

### (1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	①自営・勤務・学生・無職の別	②扶養者と同居・別居の別
父	証券 父郎	55	勤務	—
母	証券 母美	50	無職	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	財団 姉菜	22	無職	別居
弟	証券 弟太	17	学生	同居
妹	証券 妹香	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	日本 祖母子	75	無職	同居

(注) 本人からみて二親等以内の者及び扶養者と同居している親族全員を記入してください

※ 記入した者全員の住民票の写し等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入): 7,000 千円(年)

(1)の記入例の場合は、  
本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等※を添付すること

※以下、募集要項の「5.応募方法」の③参照

扶養者と同一家計の者の収入の合計額を記入すること  
(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)

(1)の記入例の内訳

- ・父(扶養者)・・・勤務の年収が6,000千円
- ・母・・・無職(収入0円)、同一家計
- ・兄・・・別家計のため合算不要
- ・姉・・・別家計のため合算不要
- ・弟・・・学生(収入0円)、同一家計
- ・妹・・・学生(収入0円)、同一家計
- ・祖父・・・別家計のため合算不要
- ・祖母・・・無職(年金を年額1,000千円受給)、同一家計

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること  
記入すべき事項が無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

※ 世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等

※ 世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

### (3) 家庭の実情 (家族の経済状況、健康状態、その他特記事項)

自筆で記入すること

(重要)日本学生支援機構(給付型)の授業料免除を受給する方は応募できません

(学部生用)

7. 本年度の経済状況(見込み額を年額で記入してください) (単位: 千円)

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560
食費(自宅通学者は外食分)	120	同一家計の家族	150
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0	本人(アルバイト)	60
交通費(通学費)	60	本人(貯蓄)	0
通信費(電話、インターネット代)	30	※日本学生支援機構(貸与型)	150
教材費	100	※他の奨学金等 (併願併給の承認を受けたもの)	50

(重要)「他の奨学金等」の併願及び併給については、大学を通して財団から併願及び併給の承認を事前に受けること  
※ 募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すること

(学部生用)

7. 本年度の経済状況(見込み額を年額で記入してください) (単位: 千円)

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含む)	560
食費(自宅通学者は外食分)	120	同一家計の家族	150
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0	本人(アルバイト)	60
交通費(通学費)	60	本人(貯蓄)	0
通信費(電話、インターネット代)	30	※日本学生支援機構(貸与型)	150
教材費	100	※他の奨学金等 (併願併給の承認を受けたもの)	50
貯蓄(目的: )	100	その他( )	
その他(目的: )			
その他(目的: )			
合計	410	合計	410

単位に注意すること

大学独自の授業料免除であっても記入すること

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等の詳細を下の表に記入すること

複数ある場合は合計額

収入と支出の合計額は、  
・正しく計算し記入すること  
・同額であること

(注) 収入及び支出の合計が同額になるように記入してください

※ 本年度に受給する奨学金等(受給の可能性のあるものを含む) (単位: 千円)

団体名及び奨学金の名称	年額	受給期間	申請予定・申請中・決定・受給中の別
	給与・貸与の別		
日本学生支援機構	100 貸与	2022年4月 ～2023年3月	申請中
日本証券大学〇〇奨学金	50 給与	2022年4月 ～2023年3月	決定
		20 年 月	

単位に注意すること

受給の可能性のある全てを記入すること  
上の表の「収入」の「日本学生支援機構(貸与型)」及び「他の奨学金等」欄の詳細を記入すること

年額で記入すること

日本学生支援機構の貸与型は併願・併給可  
//  
の給付型は併願・併給不可

無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を以下に記入してください

2020年4月から2021年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

P.6 「指導担当教員所見」は大学が作成してください。

必要項目をご記入又はご入力くださいますようお願いいたします。(押印不要)

※指導担当教員がない場合は、応募者を良く知る奨学金ご担当者(役職者)の所見を可とします。

(学部生用)

**記入例**

**指導担当教員所見**

2022年4月X日

公益財団法人 日本証券奨学財団  
理事長 殿

大 学 名 日本証券大学

役 職 名 ○○○○

指導担当教員 ○○○○

(本人との関係 ○○○○ )

以下は、貴財団に応募する奨学生候補者の学業、人物及び将来性についての所見です

※「指導担当教員」は、学部生にあっては1年次のクラス担当教員やゼミ指導教員等を指します

以 上

指導担当教員がない場合は、応募者を良く知る奨学金ご担当者(役職者)の所見を可とします。

P.7 「個人情報の利用に関する同意書」は学生(応募者)が作成してください。

内容を確認のうえ、枠内の必要項目に記入(入力不可)及び押印すること

**記入例**

2022年4月X日

公益財団法人 日本証券奨学財団  
理事長 殿

私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します

大 学 名 日本証券大学

本人署名 奨 券 花 子

**奨学**

P.8「提出書類一覧(確認用)」は学生(応募者)が提出書類の確認用にご使用ください。(提出不要)

(学部生用)

提出書類一覧(確認用)

提出書類	確認欄
<p>1. 奨学生願書一式</p> <p>「募集要項」及び「2022 年度奨学生願書の作成要領(学部生用)」を確認したうえで、書類不備(各様式の記入漏れ、添付書類の不足・その他の不備等)はありません。  <u>(注) 書類不備は大きな減点または失格となりますので、提出前に十分確認すること</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>P.1「奨学生候補者推薦状」について 所属大学より推薦者として決定したことを確認しました。</p> <p>P.2～5「奨学生願書」に不備(入力・記入・押印漏れ、添付書類の不足・その他の不備等)が無いことを確認しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;奨学生願書の提出媒体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.2…入力したものを印刷のうえ、記入、押印、写真貼付した紙と入力データ (Word)</li> <li>・ P.3～5…記入した紙</li> </ul> <p>&lt;注意事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.2 の紙とデータ (Word) は必ず同じ内容であること</li> <li>・ 書類不備(記入及び入力漏れ、添付書類の不足・その他の不備等)の無いことを確認すること</li> <li>・ 印刷 (A4・片面・白黒又はカラー) したものの体裁 (ページ崩れ等がないこと等) を確認すること</li> </ul> </div> <p>P.6「指導担当教員所見」の確認内容として、依頼または作成を確認しました。</p> <p>P.7「個人情報の利用に関する同意書」の記入漏れがないこと及び押印を確認しました。</p> <p>P.8「提出書類一覧(確認用)」  応募者(学生)の確認用にご使用してください(提出不要)</p> </div> <td></td>	
<p>2. 「成績証明書」を添付しました。  ※ 直近のもの(コピー可)</p>	
<p>3. 住民票の写し(過去6か月以内に発行されたもの)又は在留カード若しくは特別永住者証明書のコピー(応募者本人と二親等以内の者全員及び扶養者と同居している親族全員分(別家計の者を除く))を添付しました。  ※ 住民票と現住所が異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付しました。</p>	

(注) 上記の書類は、一切返却しません

以 上

## 最後に(学生のみなさんへ)

奨学生に採用された場合の義務(募集要項「7.奨学生の義務」)についても理解したうえで応募してください。

募集要項に記載のとおり、本財団の奨学生は修了後も同友会員として引き続き繋がります。本財団の奨学金は「将来社会の各分野において指導的役割を担う資質優秀な学生」に支援する目的のものであるため、修了時以降も連絡先等について変更する場合は報告の必要があります。

以 上